



JR羽犬塚駅周辺地区 社会実験実施計画書

令和7年3月



1

社会実験の目的

■背景

- ・令和4年3月に策定した『JR羽犬塚駅周辺地区まちづくりビジョン』では、「防災まちづくり」や「駅前エリアの活性化」を目標に掲げ、現在、JR 羽犬塚駅周辺地区エリアプラットフォームが主体となって、様々なまちづくりの取組みを行っています。
- ・令和6年3月に、筑後市が『JR 羽犬塚駅周辺地区都市再生整備計画』を策定し、今後、「駅前広場の再編」や「諏訪通りの再整備」、「高架下の活用」、「筑後市中央児童公園のリニューアル」等の整備を実施する予定です。

■目的

- ・このような背景を受け、今後、より魅力的で活力が兼ね備わった駅前空間を創出するために、駅前の公共空間を活用した社会実験を実施するものです。

■社会実験を経て

- ・社会実験の結果を踏まえ、公共空間活用ガイドライン等を取りまとめ、持続可能なまちづくりにつなげるものとします。
- ・また、社会実験を通じて、地元に密着した民間事業者やまちづくりのプレーヤーを発掘し、利用者や事業者の目線で、民間主導のもとエリアマネジメントを推進する体制づくりを目指します。

2

社会実験の方向性

■「便利なまちの玄関」から「心地よいまちのリビング」へ

- ・私たちは、自動車で郊外店舗などを利用する形で「便利なまち」づくりを進めてきました。さらにEコマースによって、好きな時間に自由にお買物ができるようにもなりました。その結果、商店街は衰退し、駅前の空間は、人の往来はありますが、人が立ち寄らない場所になっています。
- ・これまで駅前は「便利なまちの玄関」としての役割を求められてきましたが、そろそろ価値観を転換するタイミングに来ているのではないのでしょうか。これからの駅前には、「便利さ」ではなく、「居心地のよさ」や「ほっとする」ことが求められているようです。
- ・つまり、家庭と職場の他に、サードプレイスと呼ばれる「素の自分でいられる場所」が大切になっています。また、ひとり一人にとって安心して過ごせる場所が、求められています。
- ・よって、多様な世代のインフォーマルコミュニケーションを育む場として、「まちのリビング」のような気兼ねなく過ごせる駅前空間づくりを目指します。

3 社会実験の内容(案)

「駅前リビング」社会実験(仮)

「『駅前リビング』社会実験(仮)」では、JR 羽犬塚駅周辺に、筑後市が新しい場を整備し(仮設)、その場所を市民の方々が利用したり、そこで市民や事業者の方々が催しなどの活動を行ったりすることで、どのような憩いや賑わい、交流などが生まれるか、検証を行います。



憩いや賑わい、交流が生まれる? : 来訪者

利用や催しの実施(販売、イベント) : 市民・事業者

新しい場の整備(空間デザイン、設え) : 行政

場所	期間	コンセプト	実施内容
羽犬塚駅待合室	1 ヶ月	●ゆったりすごせる 待合空間	・カウンター席、 ベンチ ・土産物等の販売
日若屋空地	1 ヶ月	●多様な世代が 立ち寄る場所 ●まちの顔となる シンボリックな場	・休憩スペース+ カードゲームなど ・キッチンカー ・フォトスポット
諏訪通り歩道	10 日間	●ちょっと休憩できる 居心地のよい場所	・休憩スペース+ 植栽(花)
パチンコ屋跡地 駐車場	10 日間 (うち 2 日)	●みんなが集い、 交流する場所	・日中 : 子ども向けイベント ・夕方～夜 : 飲食イベント
停車場公民館	10 日間 (うち 5 日程度)	●子どもから高齢者 までの学びと交流の 場所	・生涯学習・体験学習 関係の講座 ・子ども向けイベント

3 社会実験の内容(案) つづき

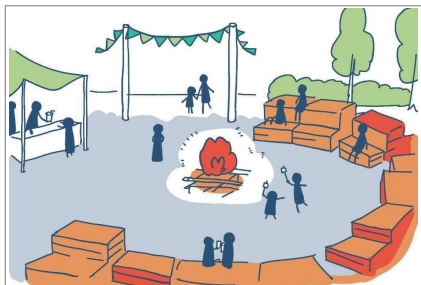
羽犬塚駅待合室

ゆったりすごせる待合空間

- ・一人でも座りやすい外向きのハイカウンター席
- ・ゆっくりと過ごせるベンチ
- ・土産物等の販売



パチンコ屋跡地駐車場、諏訪通り歩道



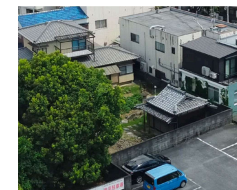
日若屋空地



停車場公民館

子どもから高齢者までの学びと交流の場所

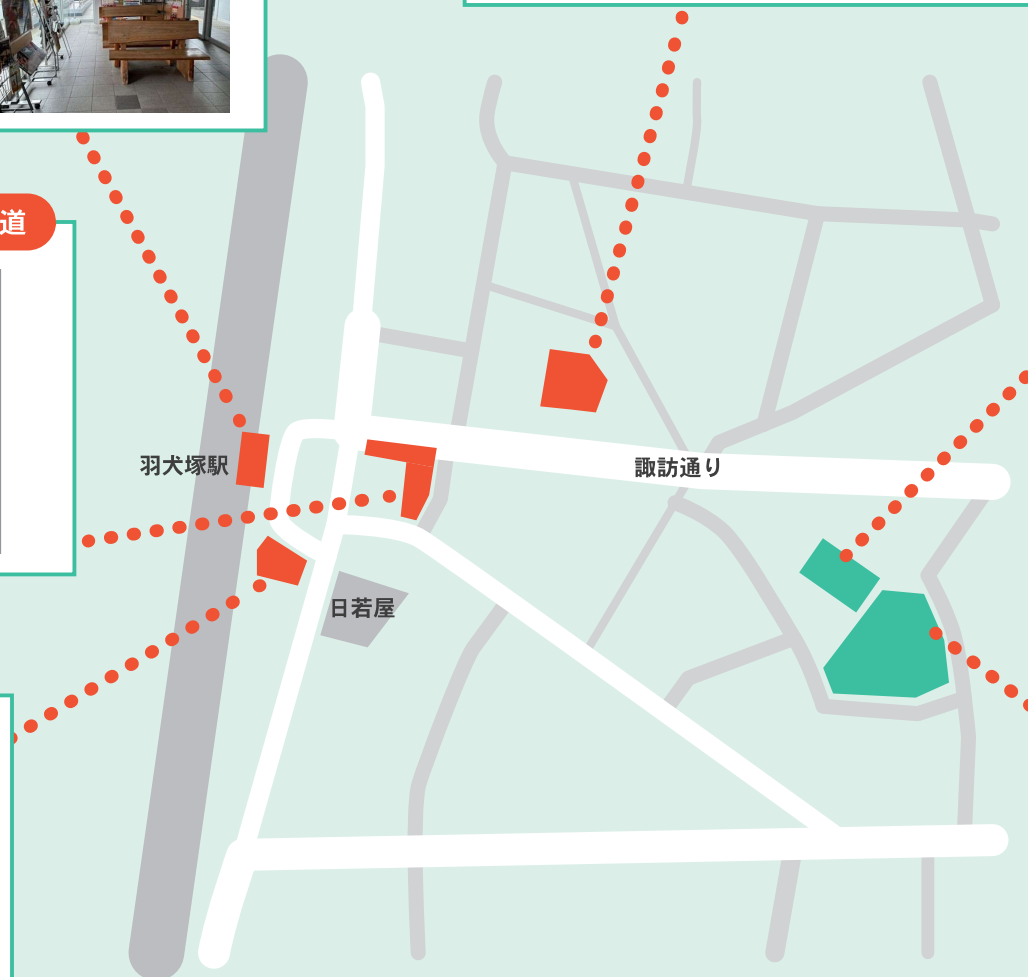
- ・生涯学習・体験学習関係の講座
- ・子ども向けイベント



諏訪神社



筑後中央児童遊園



4

社会実験検討の経緯

令和 6（2024）年 10 月 26 日（土）14：00～16：30

まちづくりシンポジウム

第 1 部高尾 忠志氏、黒瀬 武史氏、福田 忠昭氏による基調講演

第 2 部対話型ディスカッション

「官民が連携した持続可能で魅力あるまちづくり」



令和 6（2024）年 12 月 22 日（日）10：00～12：00

第 1 回ワークショップ

まちづくり事例のインプットやまちあるき（現地調査）を行い、社会実験でやってみたいことの共有を行いました。



令和 7（2025）年 1 月 19 日（日）10：00～12：00

第 2 回ワークショップ

社会実験の具体的な企画案（場所、対象、内容など）、タイトル（コンセプト）、アピールポイントをグループで考えました。



令和 7（2025）年 2 月 16 日（日）10：00～12：00

第 3 回ワークショップ

具体的な 5 つの実施場所において、具体的な場所のイメージを検討し、そのために必要な準備や運営について検討しました。



令和 7（2025）年 3 月 27 日（木）14：00～16：30

まちづくりシンポジウム

2024 度のワークショップで検討してきた内容を発表しました。

『JR 羽犬塚駅周辺地区社会実験実施計画書』

令和 7 年 3 月

発行：筑後市・J R 羽犬塚駅周辺地区エリアプラットフォーム

お問い合わせ

事務局：筑後市 建設経済部 都市対策課

〒833-8601 福岡県筑後市大字山ノ井 898 番地 TEL：0942-53-4111（代表）FAX：0942-52-5928